



筑波大学メールマガジン

ペデジャーなる 2019年 - 秋号 -

OG・OBと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を
季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

1. 『筑波大学公式アプリ「TSUKUBA FUTURESHP」誕生』／森賀遼太
ペデジャーなるがスマホアプリで読める
2. 『ふわふわの幸せ』／山野実菜
ふわふわの美味しさであなたも幸せに
3. 『公園って久しぶりに行くと良いものですね』／吉永真理
松見公園の展望塔に登りました
4. 『体芸食堂がリニューアル!』／木村誠
コンビニと食堂が新規オープン
5. 『Higa Coffee』／金久保響子
ちょっと風変わりなコーヒースタンドをご紹介します
6. 『つくば市の多文化共生を考える』／越智小夏
留学生や外国人研究者の「家族」にまで目を向ける

筑波大学公式アプリ 1 「TSUKUBA FUTURESHP」誕生



年明けから重大なニュースが飛び込んできました。

なんと、このペデジャーなるがスマホアプリで読めるようになりました！！

いったい何のことかと申しますと、筑波大学公式アプリ「TSUKUBA FUTURESHP」が1月16日から、App StoreとGoogle Playで無料配信されるようになりました。

筑波大への寄付金の受付や、最新ニュース、研究情報、スポーツ・芸術情報、特別講義などを配信する機能があります。

アプリは、筑波大が2023年に開学50周年を迎えることから、その記念事業への寄付を呼び掛けるために制作されたそうです。筑波大の卒業生や在学生などに呼びかけ、10億円の寄付を集めることを目標としています。



(筑波大学アプリのウェブサイトから。)

アプリで見られるのは、大学のウェブサイトに掲載されている、

- ・「注目の研究」

筑波大の最新の研究成果を紹介。

- ・「つくばスポーツ」

筑波大運動部の情報発信を行うポータルサイト。大会予定や結果などを掲載。

- ・「つくばA.R.T」

学内で行われている展覧会などを紹介。

- ・「在学生へのお知らせ」
在学生へ情報発信を行う。大学主催プロジェクトの募集や学生への注意喚起などを掲載。
- ・「OCW（オープンコースウェア）」
大学と社会の新しいインターフェースを作り、大学が取り組んでいる新しい知の在り方を社会に問うことを目的に、筑波大教員の特別講義の動画などを掲載。
- ・「筑波大学新聞」
筑波大とつくば市のニュースを報じる、筑波大が発行する大学新聞。
- ・「TSUKU COMM」
『筑波大の「今」切り取る』がモットーの季刊広報誌。
- ・「ペデジャーなる」
筑波大のメールマガジン。OB・OG 向けに記事を配信。
- ・「筑波大学概要」
筑波大の沿革や、研究、教育、国際交流の状況など基本情報を紹介。

の9項目です。

筑波大学新聞によりますと、事業開発推進室が9項目うち、現在はPDFで閲覧する形式となっている「筑波大学新聞」、「TSUKU COMM」、「ペデジャーなる」を、今後記事ごとに関覧できるようにしていきたいとのこと。また担当者のコメントとして「在学中から使ってもらえるアプリにするため、学生の要望に応じて機能を追加していく。学内の詳細な地図の閲覧や科目検索機能も搭載したい」とも書いてありました。

TSUKU COMM
ペデジャーなる
筑波大学概要

2020.01.17
筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる”vol35-2019年-秋号-


2019.09.04
筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる”vol34-2019年-夏号-

2019.09.04
筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる”vol33-2019年-春号-

2019.02.27
筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる”vol32-2019年-冬号-

2019.02.27
筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる”vol31-2018年-秋号-

2018.11.19



筑波大学メールマガジン ペデジャーなる 2019年-秋号-

OG・OBと学生を結びながら、懐かしさと新しさを兼ね備える筑波の真実を体験の場としてお届けしています。

INDEX

- 目次 -
1. 「院生生物の秋?！」 / 吉永真理
院生生物学会参加レポート
2. 「秋の気候を楽しもう」 / 山野実菜
寒さに負けずに!
3. 「植物学の大冒険」 / 森賀遼太
学園祭の前シンガポール
4. 「卒業しても色あせない! ぬれるつくば」 / 藤野小夏
比文のホームカミングデーに参加しました
5. 「筑波圏は約4900万円〜つくばでも猛威」 / 本村眞
台風19号とつくばの防災実験施設

ホーム
リスト
マイページ
<
↑
🔖

(アプリでのペデジャーなるの画面。右は前号のページ。)

今回は筑波大公式アプリを紹介しました。ぜひ、読者の皆さんもアプリをインストールして、スマホでもペデジャーなるをご覧になってみて下さい！

※筑波大学アプリは令和6年3月をもって閉鎖することになりました。(令和6年1月追記)

今年度最後の記事となりましたが、今号も私の記事をお読みいただき、ありがとうございました。

(社会・国際学群 社会学類3年 森賀遼太)

2 ふわふわの幸せ



今回は11月、つくば市天久保1丁目にオープンしたシフォンケーキ屋「きおら café」について紹介します。

実際にお店に行ってみるとシンプルなシフォンケーキたちが並べられていました。夕方だったこともあり残りわずかでしたが、メニューには3種類のシフォンケーキに加え、期間限定のメニューやヨーグルト、フルーツサンドなどもあります。

早速いただいてみました。まず、抹茶あずき味のもの。ほのかに苦い抹茶と、小豆のバランスが良く、シフォンの優しさをつぶさない味でした。カフェラテのまろやかさもマッチして、幸せなおやつの時間を過ごすことができました。

もう一つは2月の期間限定商品であるWチョコレートシフォンケーキ。チョコの味がしっかりしつつも甘すぎず、ふんわりと口の中に深い味わいが広がりました。

どちらももちもちで甘すぎず、素材の味が引き立つ一品です。このきおら café では、カットのシフォンケーキだけではなく一緒にいただけるドリンクメニューも豊富なので、ちょっと一休みに飲み物と甘いもの・・・という時にもぴったりです。ケーキと飲み物セ

ットのお得なメニューもありました。また、イベント用ホールケーキの受付もしているそうです。さらに、デトックスなどを意識した商品も発見。便秘解消に効くきおらソイヨーグルトや、一月に新作として登場したデトックスチョコブラウンという、食べれば食べるほど腸活になるというケーキも販売しています。女子には嬉しい情報ですよ！

ふわふわ美味しく体にも嬉しい、そんな幸せなシフォンケーキをあなたもぜひ味わってみてください。



(人文・文化学群 比較文化学類3年 山野実菜)

3 公園って久しぶりに行くと良いものですね



天久保1丁目を自転車で駆け抜けるときに、毎回必ず目に入ってくるものがあります。賑わう飲食店の対岸に、静かに佇む巨大な塔。松見公園の中に設置された高さ45メートルの展望塔です。街のシンボルでありながら、冷たい印象のコンクリート壁と直線的な造形美のせいか、浮世離れした孤高の存在のようにも感じます。いつも横を通り過ぎるだけでしたが、一回くらいじっくり見てみようと思い2月某日、松見公園に向かいました。

平日の17時頃、展望塔のベストショットを狙い人影まばらな公園内を散策しました。冷たい印象だった展望塔ですが、この日見たそれは冬の優しい夕日浴びて、柔らかい雰囲気。天気や時刻で建物の表情が変わることを実感しました。



特にやることもなかったので展望塔に登りました。階段で登ろうと思ったことは間違いで、というのも、エレベーターは1階と最上階手前の11階にしか止まらないため、途中で力尽きても最後まで足を動かすしかないからです。1階からエレベーターを使用することをおすすめします。

最上階からの景色は、まあこんなものかというものでした。夕焼けと筑波山は綺麗に見えますが、街並みは至って普通。しかしこんな風に見下ろすと、毎日行き来する場所でも全く知らない街のように映り、不思議な感覚に陥りました。

卒業研究発表をひかえ、研究室と自宅の往復で息のつまる毎日でしたが、静かな公園と開放的な展望塔で気分転換できました。

みなさまも日々の生活に煮詰まったときは近くの公園に足を運んでみてはいかがでしょうか。

<松見公園展望塔>

・所在地

茨城県つくば市天久保1-4

・営業時間

9:00～17:00（第2・第4月曜日、及び12/29～1/3まで休塔）

・料金

大人（12歳以上）＝100円

小人（6歳以上12歳未満）＝50円

（生命環境学群 生物学類4年 吉永真理）

4 体芸食堂がリニューアル！



昨年 11 月、体芸エリアの学生の胃袋を支える「体芸食堂」（体育・芸術福利厚生棟）がリニューアルオープンしました。体芸食堂は築 45 年と老朽化が進み、文部科学省が定める学校施設の耐震基準も満たしていませんでした。このため、耐震改修工事が昨年 1 月から始まっていました。



写真左：リニューアル前の体芸食堂、写真右：リニューアル後の体芸食堂

リニューアル後の体芸食堂は、特徴的だった「DRINK FOOD ART」という外壁のデザインはなくなってしまいました……。芸専らしい、秀逸なデザインの建物だなあと入学時から思っていた筆者からすると、少し残念です。

体芸食堂の 1 階には新たに、コンビニの「ニューヤマザキデイリーストア」と食堂の「膳の庵」が開店しました。

「ニューヤマザキデイリーストア」では、通常のコンビニと同じように、公共料金の支払いができるほか、クレジットカードや Suica、PASMO、iD などといった各種電子マネーの使用も可能でした。筑波大学内の学食はそのほとんどで電子マネーを使うことができないので、これは便利ですね！

品揃えも通常のコンビニと同様で、おにぎりやお弁当、カップラーメン、パン、お菓

子、飲み物、雑貨などなど。友人の体育専門学群生に話を聞くと、「教室のそばにコンビニができ、キャンパスライフがとても快適になった」と絶賛していました。



新たにオープンしたコンビニ

食堂「膳の庵」では、定食やカレー、うどん、ラーメン、丼物、チャーハンなど豊富なメニューから選ぶことができます。どれもリーズナブルな価格設定で、学生の財布にも優しいお店といえます。「管理栄養士が考えた健康日替わり定食」(680円・税込み)など、普段、栄養が偏りがちな学生にはうれしいメニューもありました。

筆者は「体芸プレート」を注文しました。メインをチキン南蛮、ミックスフライ、焼肉カルビ、煮込みハンバーグの4種から選ぶことができ、ワンコイン(500円・税込み)。



体芸プレート

ご飯は「白米」と「膳の庵オリジナル健康米」から選ぶことができ、大盛りも無料だそうです。メインはチキン南蛮を選んだのですが、ご飯が進む美味しい定食でした。

食堂の前には広々とした約 130 席の飲食スペースがあり、コンビニのイートインスペースとしても利用できます。一面ガラス張りになっており、日光が差し込むとても気持ちいいスペース。筆者が訪れたのは午後 4 時頃でしたが、友達と談笑しながらコンビニで買ったパンを食べていたり、コーヒーを片手に課題に勤しんだりしている学生がいました。

営業時間は平日の午前 8 時 15 分から午後 5 時 30 分までとなっています（春季休業期間中は、一部を除いて平日の午前 11 時から午後 1 時 30 分まで営業。詳しくは筑波大学厚生会のウェブサイトをご覧ください）。筑波大学にお越しの際は、新しくなった体芸食堂で、学生時代の思い出を振り返ってみてはいかがでしょうか。

（人文・文化学群 人文学類 3 年 木村誠）

5 Higa Coffee



暖冬が続いていますが、読者のみなさまはいかがお過ごしでしょうか。暖かいといっても朝晩は冷え込むなか、やはり温かい飲み物は欠かせません。また、何かに集中したいという場面でも、コーヒーを飲む方は多いのではないのでしょうか。今回の記事では、そんなコーヒーの新しい飲み方を提案する活動を行っている「Higa Coffee」をご紹介します。

まず「Higa Coffee」はT-ACTの活動の一環です。T-ACTとは、「つくばアクションプロジェクト」のことで、学生や教職員がなにか活動をしたいと考えたときに、大学が支援をしてくれるというプロジェクトです。

「Higa Coffee」は、コーヒーを飲むだけでなく、これまでに蓄積されたデータを読んだり、飲んだコーヒーの評価や感想を書いたりすることによって、自らに最適なコーヒーを選ぶことのできる場を提供する活動を行っています。この蓄積されたデータというのは、「Higa Coffee」が収集した「どのコーヒーがどんな状況で飲まれ、どう評価されたのか」といったデータのことです。つまり、このデータを参考にしながらコーヒーの種類を選び、コーヒーを楽しんだあとにその評価と感想を書くという一連の流れを、「Higa Coffee」は提案、実施しています。

このちょっと風変わりな「Higa Coffee」が開催したイベント「コーヒーデイズ」に、実際に行ってみました！ 私は遊びに行ったのは、2019年11月11日～15日の期間で「Higa Coffee」が行っていたイベントです。このイベントでは、飲みに行った人が豆の種類（コロンビアかキリマンジャロ）、煎り方（浅煎りか深煎り）、抽出時間（3分、4分、5分）の3項目を選択し、コーヒーを淹れてもらうことができます。イベント会場では、それぞれの豆がどのような豆なのか、抽出時間で味がどのように変わるのかといったコーヒーについての知識を、主催している学生のみなさんから教わることができました。そしていただいたコーヒーが美味しい！ 私も普段から1日に必ず1杯は飲むのですが、やはり、コーヒーに詳しい方に淹れてもらったコーヒーはとても美味しかったです。「Higa Coffee」がこだわっているもう1つの点としては、抽出する際にフレンチプレスを使うという点だそうです。フレンチプレスを使う理由は、湯量・湯温・粉量などの情報を記録しておけば、よく似たコーヒーを再現できるというところにあるようですが、フレンチプレスを見たことがなかった私にとって、とても興味深かったです。

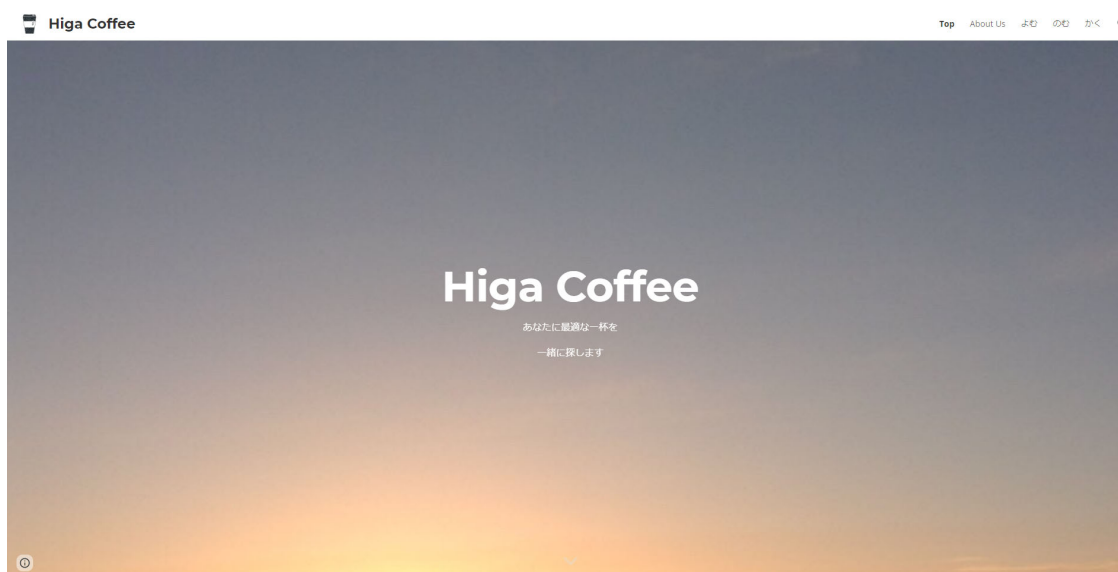
コーヒーを飲んだあとは感想を書きました。この私たちが書いた感想を集計したものが、「Higa Coffee」の公式HPに掲載されています。詳しくは公式HPを参照していただきたいのですが、私たちが書いた感想がこんなふうに分かるんだ！ と興味深く読ませてもらいました。興味のある方はぜひ公式HPをご覧ください。

ちなみに、「Higa Coffee」の「Higa」は「彼我公園」が由来だそうです。「彼我公園」は横浜スタジアムのある横浜公園の旧称です。「彼我公園」は「彼（外国人）」と「我（日本人）」の双方が利用できる場として、外国人居留地と日本人市街地の境界に造られました。「Higa Coffee」も、「自分以外の Drinker」と「自分」、そして「スタッフ」と「Drinker」の双方をつなぐ役割を果たしているという思いが、この名称にこめられているようです。

以上、ちょっと風変わりなコーヒースタンド「Higa Coffee」についてご紹介しました。T-ACT の活動は興味深く新たな視点を得ることができるものがたくさんあり、私はたびたび、T-ACT の公式 Twitter などチェックをしています。読者の皆さまもぜひ T-ACT の活動をチェックし、そして「Higa Coffee」が開催するイベントに訪れてみてはいかがでしょうか。ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

「Higa Coffee」公式 HP

<https://sites.google.com/view/higa-coffee>



「Higa Coffee」公式 Twitter

<https://twitter.com/higacoffee>

(教育研究科教科教育専攻社会科教育コース2年 金久保響子)

6 つくば市の多文化共生を考える



1月に参加した国際シンポジウム「地域社会と多文化共生」について紹介しようと思います。このシンポジウムは、日本語・日本文化学類などが主催したもので、2日間に渡って筑波大で開かれました。筑波大生をはじめ、韓国など海外の研究者や学生、そしてつくば市民など、延べ180人が参加しました。

英語での発表も多い中、長時間にわたって発表を聞くのは正直脳みそが疲れてしまいましたが、韓国における映画の「聖地」の変容や、ディズニー映画の差別問題など、多岐にわたる発表内容に、時間があっという間に過ぎていきました。今回は、その中でも、特につくば市に関する発表を2つ紹介したいと思います。

1つ目は、筑波大の井出里咲子准教授による、筑波大の留学生やその家族と、家族が通う保育園との間で生じているコミュニケーションのずれに関する発表です。

井出准教授は、実際の保育園でのフィールドワークなどを通して、保護者側と保育園側両方の悩みを調査しました。留学生など保護者側には、「お弁当の日」、「運動会」など日本語の文字は読めても、母国で同様の習慣や行事がない場合に、具体的に何をすれば良いのか分からないなどの悩みがあり、保育園側には「(保護者が)連絡を理解しているかどうか分からない」といった悩みがあるそうです。

2つ目は、同じく筑波大の澤田浩子教授と松崎寛准教授による、留学生や研究者など外国人が多いつくば市が抱える課題に関する発表です。つくば市に住む外国人が増えた経緯や、それによる市の変化について説明しました。

その中で特に筆者が気になったのが、筑波大が留学生受け入れを推進したことで近隣小学校の外国人児童が急増し、ボランティアなどが行なってきた日本語の支援が追いついていないという現状です。留学生の受け入れ推進自体は、学ぶ機会の多様性の面などからも良いことだと思います。実際私も、筑波大が進めてきた国際交流の恩恵をたくさん受けてきました。しかし、留学生の家族やその暮らしまでには全く考えが及んでおらず、そんな自分を恥ずかしく感じました。

シンポジウムでは、会場を通しての議論も行われました。日本語教育のボランティアをしているというつくば市の方は「日本人の常識にとらわれず、相手の文化の背景を知ることが重要だ」とおっしゃっており、賛同の声が多く上がりました。日本全体で国際化が進んでいくであろう将来、つくば市が良いロールモデルとなれるよう、私たち学生や大学にできることを考えていきたいと思いました。

また、休憩時間などに、来場者同士で研究者や市の職員といった垣根を超えた交流が行われていたのも印象的でした。まずは、こういう開かれた場を増やしていくことが、大学の役目なのかもしれないと感じました。

(人文・文化学群 比較文化学類4年 越智小夏)

編集後記

最後までお読みいただきありがとうございました！

体芸食堂の改修など、変わっていくものもある一方で、松見公園の展望塔など変わらず市を見守るシンボルもあります。住民の入れ替わりが激しい街でもありますが、共に暮らす人々への思いやりの心は、全員が変わらず持っていたいですね。

来年度も、筑波大学・つくば市をさまざまな角度からお伝えしていきますので、次号以降も楽しみにお待ちください！



○筑波大学カード キャンペーン実施中

筑波大学公式クレジットカード「筑波大学カード」新規入会者募集中です！

今なら新規お申込みの方に 2000 円のプレゼントキャンペーンを実施しています。



インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！

《筑波大学カードをご利用の場合》

- ・利用金額の一部が筑波大学基金へ寄附
- ・サービス協力店舗での優待利用可能

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html> をご覧ください。

○シャトー・クーアンのご案内

本学とボルドー大学の連携協定を記念して、ボルドー大学の提携研究機関であるフランス国立農業研究所（INRA）で醸造された「シャトー・クーアン」の特別ボトルを作成・販売しています。



カスミ筑波大学店、プルシェキュート店でお買い求めいただけます。

カクヤスネットショッピングでもお買い求めいただけますので、

こちら https://www.kakuyasu.co.jp/store/?bid=lgpc_index をご覧ください。

- 📍 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>
- 📍 筑波大学 facebook : <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>
- 📍 筑波大学 Futureship facebook : <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.futureship>
- 📍 筑波大学交流広場「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

(筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中！)

- 📍 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ
- 📍 デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業開発推進室
- 📍 ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業開発推進室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

© 2019 University of Tsukuba.